

■ご購入前に

お客様のトイレに「住宅用システムトイレ レストパルF」が設置可能か
設置判定のフローチャートに沿って事前に確認してください。

参考 施工動画

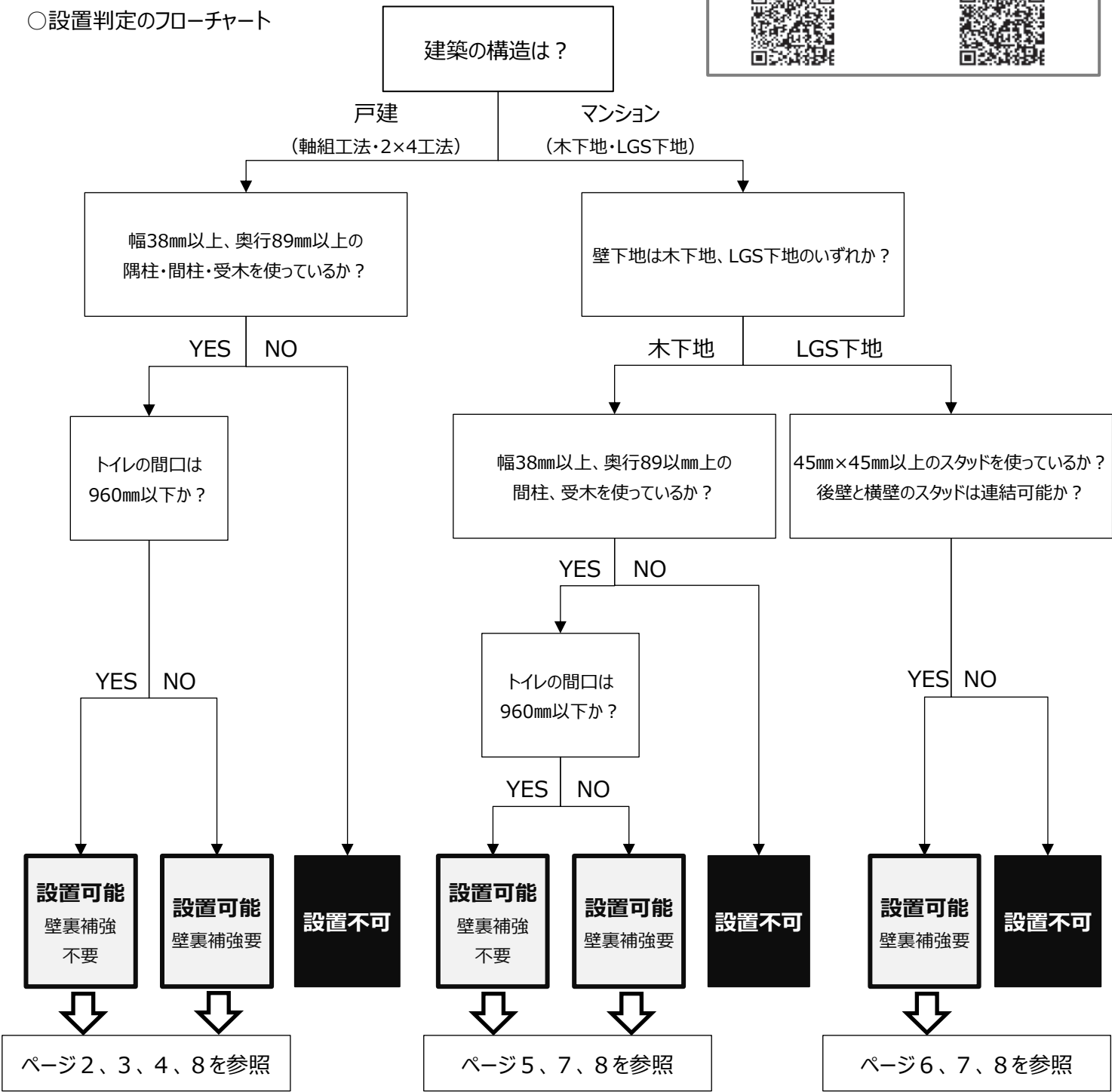
施工の流れがご確認いただけます。

【レストパルF I型】

【レストパルF L型】



○設置判定のフローチャート



レストパルFをご購入する前に、壁と床の補強が全項目に合致しているかを□にチェックしてご確認ください。

■ 壁の補強

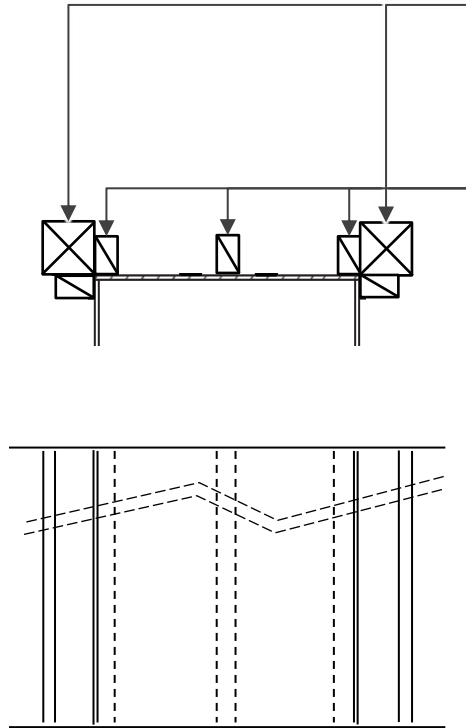
戸建（軸組工法）の場合

☐ 全般事項

建築材に強度不足となるような腐食がない

☐ 壁裏補強の確認

ページ4の「壁裏補強の確認」を参照
隅柱・間柱・受木が38mm×89mm以上の場合は合板補強不要



☐ 隅柱の確認

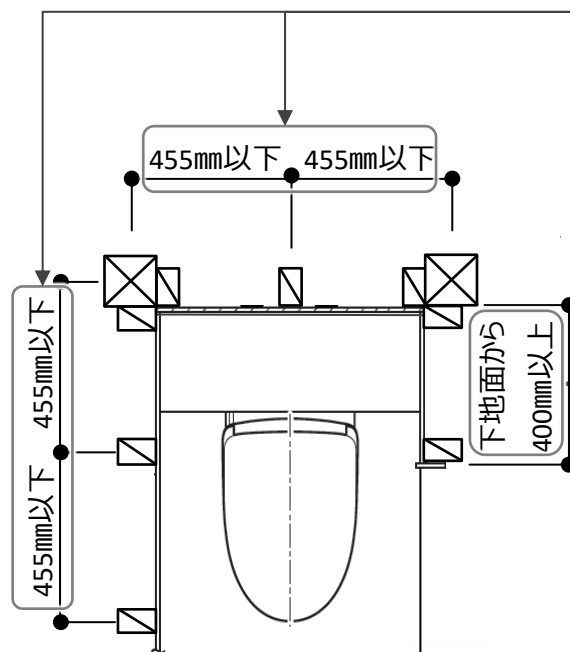
後壁両側に幅38mm×奥行89mm以上の隅柱がある（105mm角以上の隅柱も可）

☐ 間柱の確認

幅38mm×奥行89mm以上の間柱がある（幅30mm×奥行105mmの間柱も可）

☐ 受木の確認

幅38mm×奥行89mm以上の受木がある（幅40mm×奥行45mmの受木も可）



☐ 間柱の配置確認

間柱は455mm以下のピッチで設置されている

☐ 横壁の配置確認

400mm以上の横壁がある

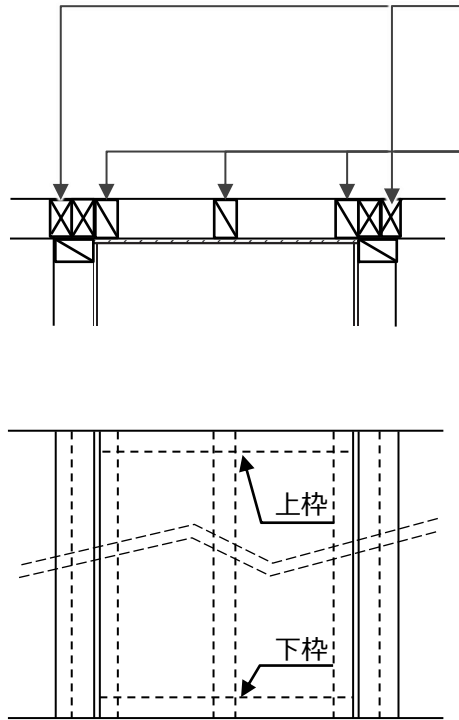
戸建（2×4工法）の場合

☐ 全般事項

建築材に強度不足となるような腐食がない

☐ 壁裏補強の確認

ページ4の「壁裏補強の確認」を参照
隅柱・間柱・受木が38mm×89mm以上の場合は合板補強不要



☐ 隅柱の確認

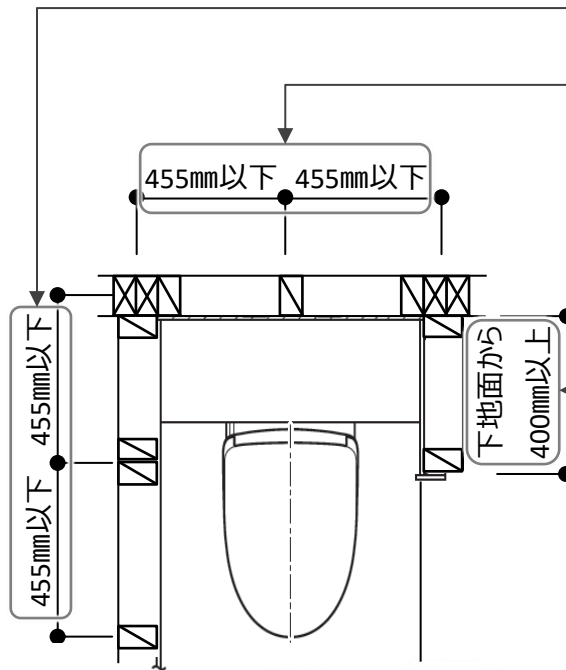
後壁両側に幅38mm×奥行89mm以上の隅柱がある（もしくは隅柱を追加できる）

☐ 間柱の確認

幅38mm×奥行89mm以上の間柱がある

☐ 受木の確認

幅38mm×奥行89mm以上の受木がある



☐ 間柱の配置確認

間柱は455mm以下のピッチで設置されている

☐ 横壁の配置確認

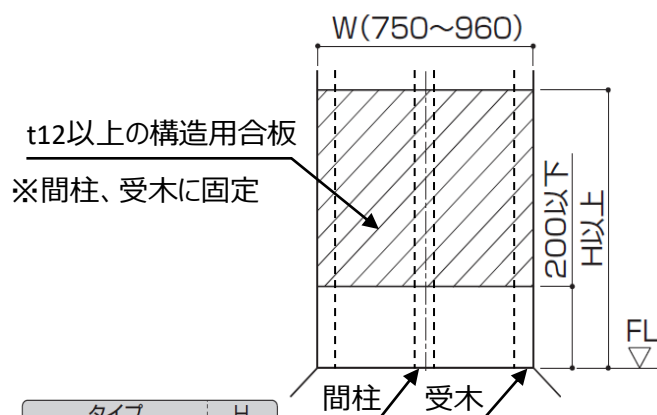
400mm以上の横壁がある

□ 壁裏補強の確認 戸建（軸組工法、2×4工法）の場合

◎ 後壁の壁裏補強

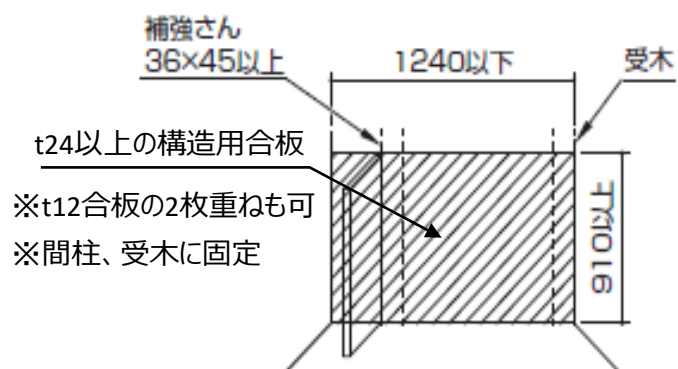
- ・隅柱、間柱、受木が所定の位置にある場合は壁裏補強は不要です
- ・隅柱、間柱、受木が所定の位置にない場合は下図の壁裏補強が必要になります
- ・隅柱、間柱、受木の位置に関わらずトイレ間口が961mm以上の場合は下図の壁裏補強が必要になります

<トイレ間口が960mm以下の場合>



タイプ	H
まるごと収納タイプ	1070
収納タイプ	890
スリム収納タイプ	890

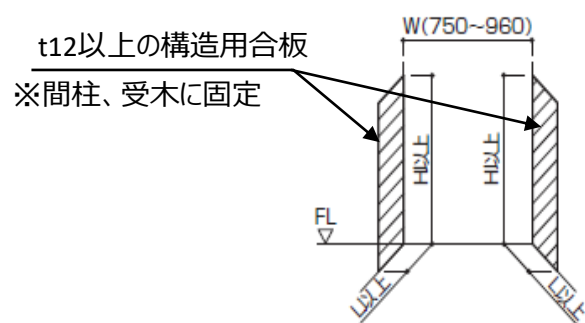
<トイレ間口が961mm以上の場合>



◎ 横壁の合板補強

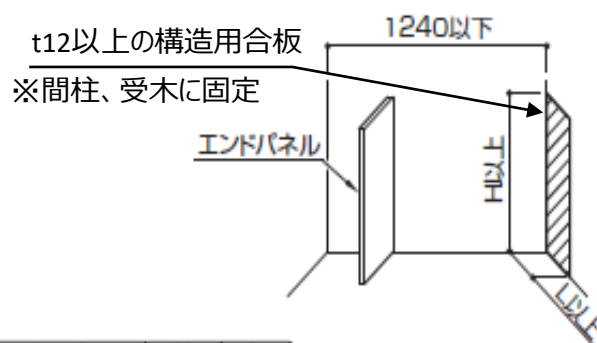
- ・下図の斜線範囲にt12以上の構造用合板を入れてください
- ・壁裏補強なしで施工する場合、ボードアンカー（オプション：UGA490A）をご使用ください

<トイレ間口が960mm以下の場合>



タイプ	H	L
まるごと収納タイプ	1070	240
収納タイプ	890	240
スリム収納タイプ	890	180

<トイレ間口が961mm以上の場合>



タイプ	H	L
まるごと収納タイプ	1070	240
収納タイプ	890	240
スリム収納タイプ	890	180

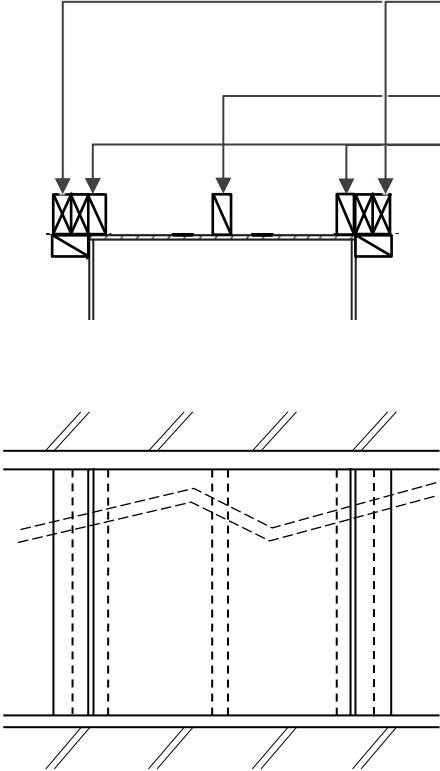
マンション（木下地）の場合

☐ 全般事項

建築材に強度不足となるような腐食がない

☐ 壁裏補強の確認

ページ7の「壁裏補強の確認」を参照



☐ 隅柱の確認

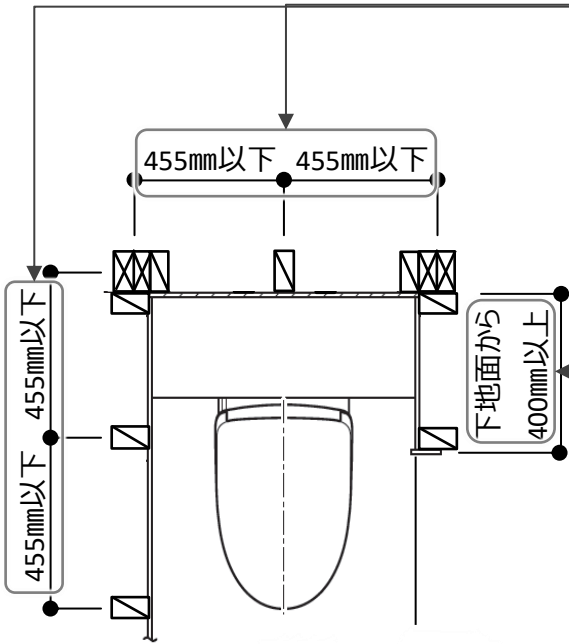
幅38mm×奥行89mm以上の隅柱がある（もしくは隅柱を追加できる）

☐ 間柱の確認

幅38mm×奥行89mm以上の間柱がある

☐ 受木の確認

幅38mm×奥行89mm以上の受木がある



☐ 間柱の配置確認

間柱は455mm以下のピッチで設置されている

☐ 横壁の配置確認

400mm以上の横壁がある

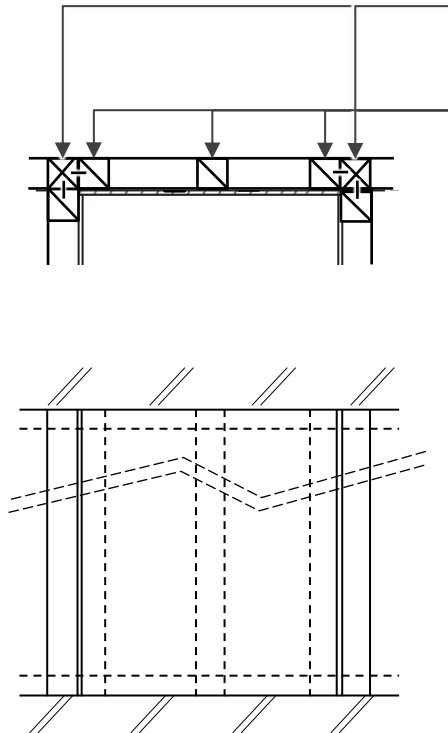
マンション（LGS下地）の場合

☐ 全般事項

建築部材に強度不足となるような腐食がない

☐ 壁裏補強の確認

ページ7の「壁裏補強の確認」を参照

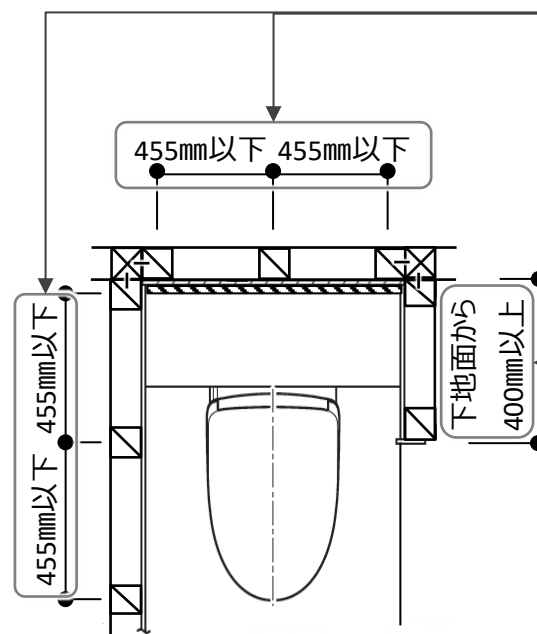


☐ 隅柱の確認

後壁両側に幅45mm×奥行45mm以上の隅柱（補強スタッド）がある（もしくは隅柱を追加できる）

☐ スタッドの確認

幅45mm×奥行45mm以上のスタッドがある



☐ スタッドの配置確認

スタッドは455mm以下のピッチで設置されている

☐ 横壁の配置確認

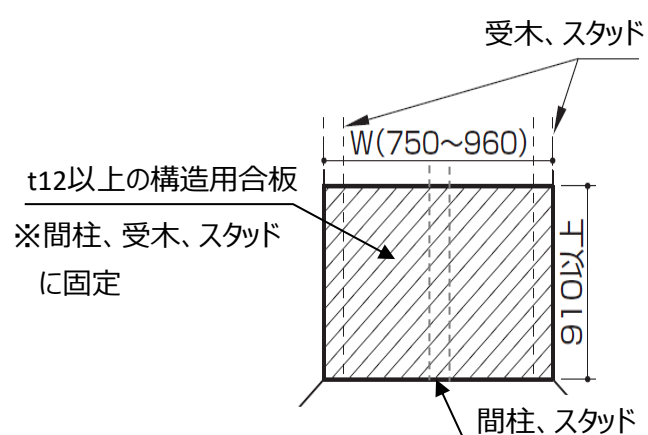
400mm以上の横壁がある

□ 壁裏補強の確認 マンション（木下地、LGS下地）の場合

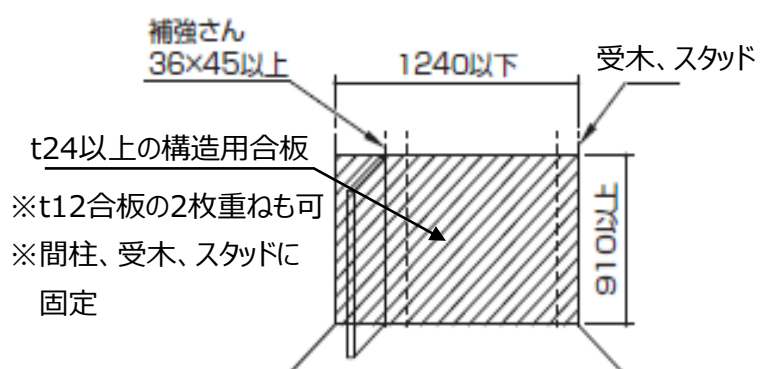
◎ 後壁の壁裏補強

- ・隅柱、間柱、受木が所定の位置にある場合は壁裏補強は不要です
- ・隅柱、間柱、受木が所定の位置にない場合は下図の壁裏補強が必要になります
- ・隅柱、間柱、受木の位置に関わらずトイレ間口が961mm以上の場合は下図の壁裏補強が必要になります
- ・隅柱、間柱、受木の位置に関わらずLGS下地に場合は下図の壁裏補強が必要になります

<トイレ間口が960mm以下の場合>



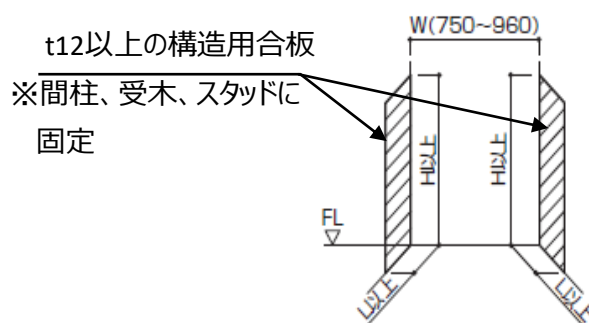
<トイレ間口が961mm以上の場合>



◎ 横壁の合板補強

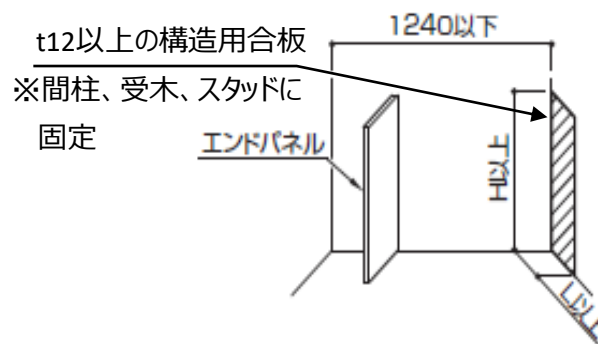
- ・下図の斜線範囲にt12以上の構造用合板を入れてください。
- ・壁裏補強無しで施工する場合、ボードアンカー（オプション：UGA490A）をご使用ください。

<トイレ間口が960mm以下の場合>



タイプ	H	L
まるごと収納タイプ	1070	240
収納タイプ	890	240
スリム収納タイプ	890	180

<トイレ間口が961mm以上の場合>



タイプ	H	L
まるごと収納タイプ	1070	240
収納タイプ	890	240
スリム収納タイプ	890	180

レストパルFをご購入する前に、壁と床の補強が全項目に合致しているかを□にチェックしてご確認ください。

■床の補強

戸建の場合

☐ 全般事項

建築材に強度不足となるような腐食がない

☐ 根太の配置

根太は303mm以下のピッチで設置されている

☐ 下地合板

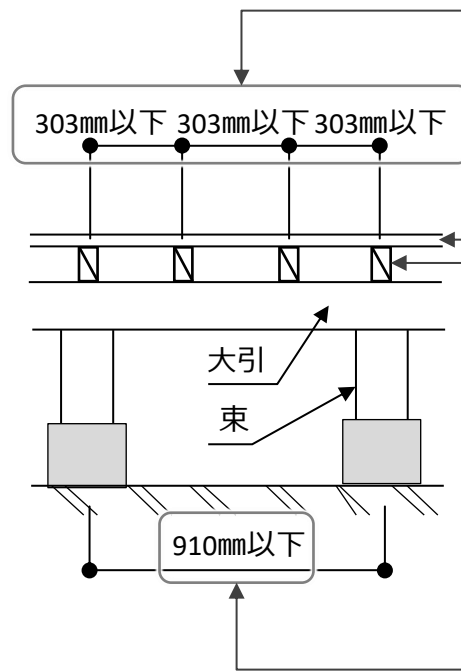
厚み12mm以上の合板がある

☐ 根太

幅36mm以上、高さ45mm以上の根太がある

☐ 大引、束の配置

910mm以下のピッチで設置されている



マンションの場合

☐ 全般事項

建築材に強度不足となるような腐食がない

☐ 根太の配置

根太は303mm以下のピッチで設置されている

☐ 下地合板

厚み12mm以上の合板がある

☐ 根太

幅36mm以上、高さ45mm以上の根太がある

